

要望事項 (優先順位 3)

幡枝中通のバス路線整備

要 旨

平成28年度末に、京都市において「岩倉南学区内公共交通アンケート」が実施され、バス交通空白地帯はとりわけ幡枝町西部地域に広がっていることが判明しました。その後、京都市の「地域と連携したモビリティ・マネジメント事業」に採択され、幡枝町自治会・京都バス・左京区役所が協力し、3度にわたるワークショップに多くの住民を集めてバス路線開設を目指して具体案を練り続け、平成30年の春頃にはあと一步で運行実験が始まろうかというところまで計画は煮詰まりました。ところが、その時点で、京都バス側に極度の運転手不足という事情があることが顕在化し、バス路線開設の計画は一時中断という事態になってしまいました。

バス路線開設の地元側の需要と実現へ向けての熱意は共に決して衰えたわけではないので、条件が好転し次第、本計画「幡枝中通のバス路線整備」の検討を再開していただくよう要望します。

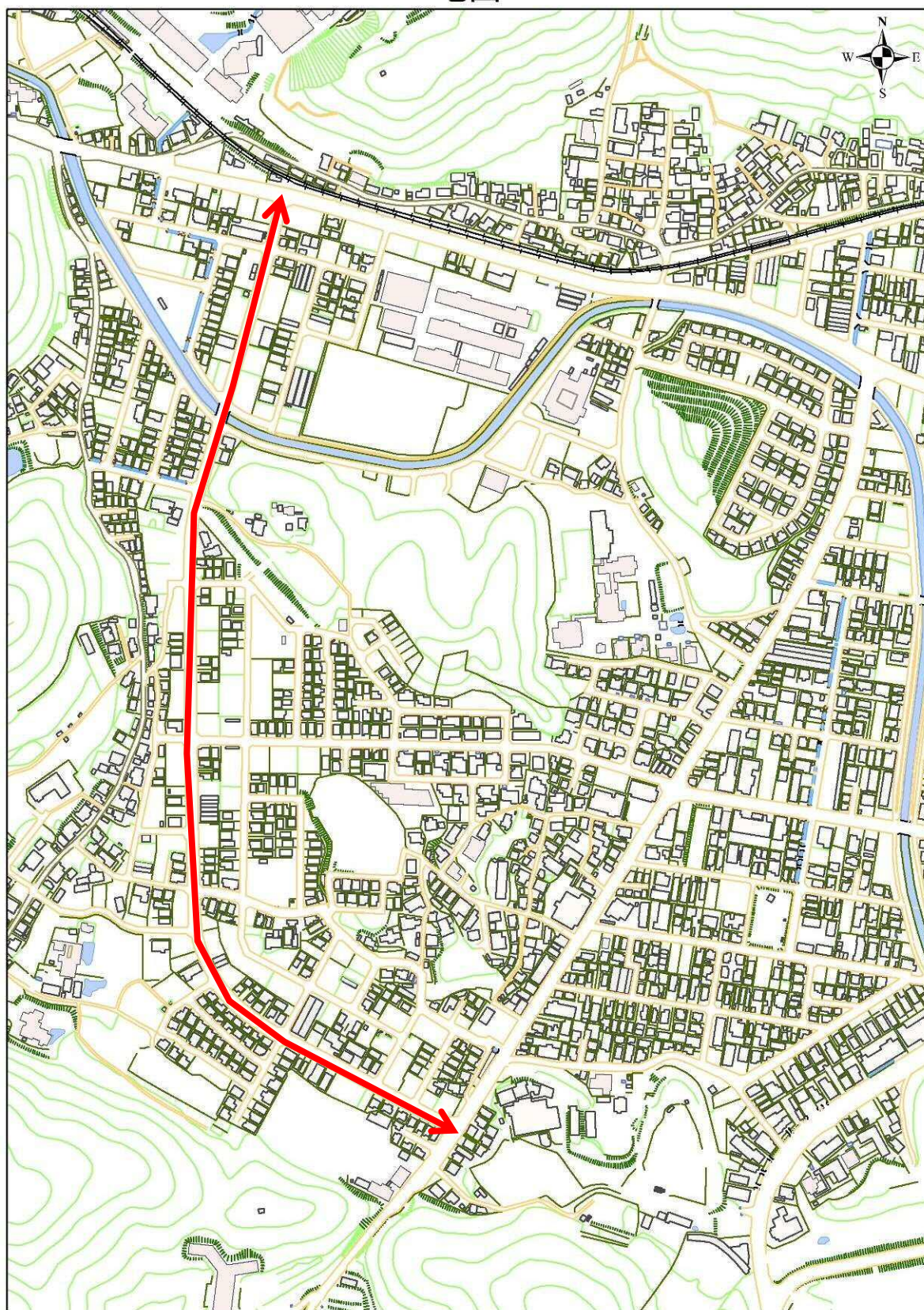
回 答**(京都バス)**

幡枝中通の開通及び宅地化が進行する中、弊社では、地域の公共交通のあり方について、平成28年度以来、地元の皆様並びに京都市様と共に検討してまいりました。これまでの複数回のワークショップ等を通して、地域の皆様の熱心な御姿勢に接する中で、御要望の路線バスの運行について前向きに検討しておりました。

しかしながら、近年バス運転士不足が全国的に深刻化し、弊社におきましても運転士の確保に苦慮しており、現在、最優先課題として要員の確保に注力しているところでございます。

一方で、今年度に入り地域においてアンケート調査や沿道調整を実施頂くなど、地元の皆様の熱意を頂いております。今後も継続的に協議を実施し、実現可能な方策を練ってまいります。引き続き地元の皆様の一層の御熱意御協力を賜りたくお願い申し上げます。

地図



特記事項:

1:5,000

50 25 0 50メートル